

観光社会資本の事例

テーマ	広い砂浜が戻った新潟西海岸
【施設の状況写真】	
	
<p>侵食が進んでいた新潟西海岸は、面的防護工法により広い砂浜が戻りつつある。</p>	<p>解放された第2突堤。釣り客や散策に訪れる人でにぎわっている。</p>
【施設の利用写真】	
	
<p>第10回にいがた夢海岸フェスティバル(平成16年7月)には約1万人もの市民が訪れた。</p>	
【観光資源としての利用状況】	
<p>侵食対策工事により広い砂浜が戻りつつある新潟西海岸では、多くの人を楽しめる海岸を目指し、さまざまなイベントが開かれています。毎年7月の第4土曜日には「にいがた夢海岸フェスティバル」が開催されており、昨年度で第10回を迎えました。</p>	
<p>夏場は海水浴客などでにぎわうほか、解放された第一・第二突堤は市民の憩いの場となっており、多くの方に利用されています。</p>	

テーマ	広い砂浜が戻った新潟西海岸
<p>【社会資本の基礎データ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○名称 新潟港海岸(西海岸地区) ○所在地 新潟県新潟市西船見町地先 ○事業名 直轄海岸保全施設整備事業 ○事業主体 国土交通省(北陸地方整備局) ○事業期間 昭和61年～平成28年(予定) 	
<p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>新潟西海岸は、日本最長河川である信濃川が運ぶ土砂が日本海に流出して堆積、発達した砂浜海岸でした。しかし、河川改修工事などにより流出土砂が減少し、明治後半から現在まで波による侵食を受け、最大350mも砂浜が後退しました。現在、侵食を防ぐために面的防護工法による対策工事を進めています。</p> <p>面的防護工法は、沖合に築造した潜堤と海岸から沖へ直角に伸びる突堤を複合的に配置し、養浜による砂浜の造成を行う工法です。海岸を持続的に防護・維持できるほか、広い砂浜の復元により多様な海浜利用が可能となり、また、海面上から消波ブロックがなくなるため、景観が美しい海岸となります。</p>	
<p>【位置図】</p>  <p>The map shows the Niigata West Coast area, including the Shinonoi River (信濃川) and the Japan Sea (日本海). Key landmarks and roads are labeled, such as Niigata Station (新潟駅), Niigata Port (新潟港), and the Niigata West Coast (新潟西海岸). The map also shows various roads and bridges, including the Wadai Bridge (万代橋) and the Yoneda Bridge (柳部大橋). A yellow callout box points to the '新潟西海岸' area.</p>	
<p>【関連ホームページ】</p> <p>北陸地方整備局 新潟港湾・空港整備事務所 http://www.pa.hrr.mlit.go.jp/niiyata/</p>	